

No.375



2022年6月19日発行 ■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス ■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ピル2F TEL03(5475)1200

ジャパントラックショー 2022、開催

カーボンニュートラル及び 先進技術への対応をはじめ、 商用車に関する最新技術・動向を紹介

トラックや架装をはじめ、物流に関する各種製品を展示・紹介 する、日本最大級のトラック関連総合展示会「ジャパントラック ショー 2022」が5月12~14日の3日間、パシフィコ横浜(神 奈川県横浜市) で開催されました。

カーメーカーなどによる車両展示では、カーボンニュートラル を求める社会的要求の高まりを受けて、EV、FCVの提案が目立 ちました。一方、整備用設備機器においては、先進安全技術の整 備に対応した診断機やエーミングサポートツールなどに注目が集 まりました。会場内では業界動向をテーマとしたセミナーなども 開催され、来場者数は3日間合計で53,355人でした。



いすゞ自動車

EV実用化に向けた実証実験に使用し ている小型トラック・エルフEV(モ ニター車)を展示。同社は2022年内に 商用EVの量産を開始する計画



三菱ふそうトラック・バス

2017年に量産を開始した小型電気ト ラック「eキャンター」を出品



UDトラックス

大型トラック・クオンを展示するとと もに、同車に2021年7月からオプショ ン設定された「UDアクティブステア リング」の機能などを紹介



アルティア

大型車対応3Dカメラ式アライメント テスター「ジャンボ3Dスーパー」を 展示。最短3分(車種による)で大型 車のアライメント測定が可能



水道水に含まれる不純物を取り除き、 洗車時の拭き上げが不要となる浄水器 「ハイパーウォーター」や、移動発電 車両、エアホースカバーなどを紹介



イヤサカ

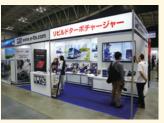
ロードローラーが付いた大型車用ホイ ールバランサー「HDE32」。特許取得 済みの各種システムで正確な作業をサ ポートする



2024年10月開始のOBD車検にも対応 を予定する新型整備用スキャンツール 「MST-nano」を紹介



オルタネーターやスターターなどのリ ビルトパーツを紹介



TTSグループ

大型車メーカー各社のリビルトターボ チャージャーを展示



リトラスパーツセンター

エンジンやミッションをはじめとした リビルトパーツや、フロントマスクパ ネルなどのリサイクルパーツを展示

捐保料率機構、「自動車保険の概況 | 2021年度版を発行



新型コロナウイルスの影響などにより 保険金支払い件数・金額が大幅に減少

損害保険料率算出機構 (損保料率機構) はこのほど、「自動車保険の概況」2021 年度版(2020年度データ)を発行しました。 同書は統計数値などを用いて、自賠責保険 及び自動車保険の仕組みや一般的な補償内 容、収支動向、自賠責保険の損害調査など を保険契約者や交通事故被害者などに知ら せることを目的に毎年作成されているもの です。

同書によると、2020年度の任意自動車 保険の収入保険料(グラフ1)は3兆9,700 億円で、前年度に比べ570億円(1.5%) 増加、支払い保険金(グラフ2)は1兆 7,225億円で同比2,659億円(13.4%)減 少していました。

車両保険の事故形態別統計(表1)では、 「他車・物・人との衝突、接触、転覆、墜落」 による支払い件数・保険金が、前年度から 229,630件 (13.5%) 減・574億4,140 万4千円 (9.9%) 減となる 1,470,931件・ 5,244億6,413万5千円でした。近年は先 進安全技術の普及拡大によって、事故発生 件数は減少傾向にありました。それに加え て2020年度は、新型コロナウイルス感染 拡大を受けた外出自粛要請などの影響によ り交通事故発生件数が大きく減少したため、 支払い件数・金額も減少したと考えられま す。一方、2018・19年度に増加してい た「台風・竜巻・洪水・高潮」による支払 いは、前年度から572億3.370万2千円 (85.2%) 減の99億1,203万円と大幅に 減少しており、こちらも車両保険における 支払い保険金減少の一因となりました。

4) を見ると、車両保険における部品費は 前年度比1.568円増の166,168円、対物 賠償責任保険では部品費が同比4,970円

また、修理費の費目別統計(グラフ3、

増の145,114円と、ともに部品費が増加 していました。

新型コロナウイルスの感染拡大により保 険金支払い件数・金額が大幅に減少した一

方で、先進安全装置の普及などによる部品 価格の上昇傾向及びそれによる修理費の増 加傾向は継続していることが読み取れます。 (億円) 任意自動車保険・収入保険料の推移 40.000 39,700 39,600 39.500 39,130 39,061 39,000 38,500 38,000 37,500 37.395 37,000 36,500 36,000 2017 2018 2019 2020



グラフ3 修理費費目統計(車両保険) ■部品費 ■工賃 ■塗装費 ■その他

※ () 内は構成比 合計 2019年度 164,600 (52.5%) 56,276 (18.0%) 313,410 2020年度 66,766 (21.1%) 29,223 (9.2%) 316,806 200,000 250,000 400,000 0 50,000 100,000 150,000 300,000



表1 任意自動車保険 車両保険 事故形態別統計

事故形態		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
他車・物・人との衝突、 接触、転覆、墜落	支払い件数 (件)	1,724,763	1,725,152	1,726,414	1,700,561	1,470,931
	(対前年度比)	– 45,121	389	1,262	- 25,853	- 229,630
	支払い保険金(千円)	537,417,775	553,117,991	567,881,390	581,905,539	524,464,135
	(対前年度比)	4,262,056	15,700,216	14,763,399	14,024,149	- 57,441,404
台風・竜巻・ 洪水・高潮	支払い件数 (件)	10,403	13,769	100,760	69,415	14,506
	(対前年度比)	— 14,617	3,366	86,991	- 31,345	– 54,909
	支払い保険金(千円)	7,661,492	8,884,173	69,128,842	67,145,732	9,912,030
	(対前年度比)	- 6,798,112	1,222,681	60,244,669	- 1,983,110	- 57,233,702
盗難	支払い件数(件)	9,917	10,047	7,490	5,921	3,982
	(対前年度比)	- 1,349	130	- 2,557	– 1,569	– 1,939
	支払い保険金 (千円)	10,988,397	11,188,405	10,510,434	11,511,349	8,628,487
	(対前年度比)	- 212,305	200,008	– 677,971	1,000,915	-2,882,862
その他	支払い件数(件)	381,594	407,398	437,153	418,286	378,790
	(対前年度比)	- 21,031	25,804	29,755	– 18,867	– 39,496
	支払い保険金 (千円)	69,172,316	80,950,432	108,860,995	105,174,408	84,809,748
	(対前年度比)	- 6,067,338	11,778,116	27,910,563	-3,686,587	-20,364,660

※販売用・修理工場等受託車、特殊な用途・使用方法の保険契約及び特殊な契約条件による保険契約を除く
※「その他」には、火災・爆発、飛来物・落下物との衝突等が含まれる

NGP組合員

未来を担う子どもたちの成長を支援するとともに、食品廃棄物の発生抑制に貢献

かわら版

(有)オートリサイクルナカシマ福岡、子ども食堂応援私募債を発行

NGP組合員の(有)オートリサイクルナ カシマ福岡(福岡県筑紫野市、中島邦晃 社長) は3月29日、SDGs/ESG金融を 活用して、子ども食堂の支援を目的とし たSDGs私募債を発行しました。

このSDGs私募債は、西日本シティ銀 行の寄付/SDGs認証支援型「子ども食 堂応援私募債『希望の環』」で、私募債 発行企業から受け取る手数料の一部が、 一般社団法人福岡県フードバンク協議会 (髙山昭彦理事長)を通じて子ども食堂 に寄付される社債です。

子ども食堂とは、家庭環境などの様々 な要因により一人きりで食事をしたり、 家で充分な食事が取れない子どもたちに 対し、食事の提供と居場所づくりを通し て支援する取り組みです。

またフードバンクとは、品質に問題が ないにもかかわらず、市場で流通できな くなった食品を企業や個人から寄贈して もらい、福祉施設や子ども食堂、食べ物

を必要としている人に無償で配る活動の ことです。福岡県における1年間のフー ドロスは約21万トンに上り、そのうち 55%が家庭によるものと言われていま す。フードバンク協議会は年間約300 トンの食品を子ども食堂へ提供し、フー ドロスの削減に取り組むとともに子ども 食堂の活動を支援しています。

フードロスにつながる食品を子ども食 堂へ提供する活動は、SDGsの目標 1「貧 困をなくそう」、目標2「飢餓をゼロに」、 目標3「すべての人に健康と福祉を」に 寄与するものです。

中島社長は「以前テレビで、貧困問題 によりご飯をまともに食べられていない 子どもたちが多くいることを知り、何か できないか考えている時に『子ども食堂 応援私募債』と出会いました。これから の時代を担う子どもたちに、栄養のある 食事や温かな団らんが1人でも多く届い て欲しいと思うとともに、少しでもフー

ドロスが減る事を望んでいます」と、今 回のSDGs私募債の発行に込めた想いを 語りました。



オートリサイクルナカシマ福岡・中島邦晃社長 (左) から、福岡県フードバンク協議会・向居秀文事務 局長へ客付全日録を贈呈



福岡県フードバンク協議会からの感謝状(左)と、 西日本シティ銀行から贈呈されたSDGs認定証

NGP、ベルマーク教育助成財団の「バーチャル説明会2022」に協力

各種活動を紹介し、 自動車リサイクル業界全体の認知度向上に貢献

NGP協同組合が協賛団体として2012年より加入しているベルマーク教育助成財団(銭 谷眞美理事長)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ベルマーク運動説明会の開

説明会の中止に伴い、同財団はWebサイト上(https://www.bellmark.or.jp/)に「バ ーチャル説明会2022」のページを設置し、財団の現状や支援実績などに関する説明動画 を公開しています。

NGPはこのバーチャル説明会の取り組みに協賛し、組合活動などに関する情報を提供 しています。NGPは今後も自動車リサイクル業界全体の認知度向上を目指した各種取り 組みを継続し、広く世の中に向けてリサイクル部品の活用を提案していきます。

NGP 今月の CO₂ 削減量

リユース部品利用に伴う CO。削減量

^{令和4年4月:} 2,149t

※自動車リサイクル部品産学共同研究 会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもと に、NGPが販売したリユース部品の 90品目(左右ある部品を含むと115 品目)を対象に算出した数値です。



↓ リターナブル梱包材利用に伴うCO。削減量

令和4年4月:

0.5t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO。排出量削減の取り組みです。段ボールに代え、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。



「バーチャル説明会2022」でNGPは、自動 車リサイクル部品の生産や資源リサイクルへ の取り組み、アップサイクルプロジェクトに よる廃棄物排出量削減への貢献、NGPバー チャル工場見学による教育支援、香川県豊島 での環境保全・再生活動、廃車買取サービス 「廃車干」などの各種活動を写真や動画を交 えて分かりやすく解説

NGP組合員 かわら版

持続可能な循環型社会づくりに貢献

西日本オートリサイクル(株)、「脱炭素先進企業」の認定を取得

NGP組合員の西日本オートリサイク ル(株)(福岡県北九州市、髙野博範社長) は4月28日、北九州市が運営する「北 九州市脱炭素電力認定制度」において、 脱炭素先進企業として認定されました。

同制度は、脱炭素に向けて先行的に取り組む企業を支援することを目的として2021年に設立されたものです。再生エネ100%電力もしくは再生エネ以外の脱炭素電力の供給を受けている北九州市内の企業を対象としており、認定された企業は再エネ100%電力施設として北九州市のWebサイトやSNSで公開されるとともに、認定ロゴマークを名刺などに使用することが可能となるなどの特典を受けることができます。

「環境未来都市」として国から認定された北九州市のエコタウンエリアで事業を展開する西日本オートリサイクル(株)は、以前からごみを焼却処理する際の焼却熱を利用して作られた電気を使用する

など、 CO_2 発生量の少ない電力を使用していました。さらに同社は昨年、北九州市が再生可能エネルギーの導入企業を募集した際に申請しており、このほどその導入・使用が開始されたことから認証の取得に至りました。

車の環境負荷は、材料生産・組み立て・使用・廃棄のライフサイクルで評価されることから、リサイクル事業による環境負荷低減の重要性が増し、事業活動の環境貢献度を高める取り組みが求められます。高野社長は「現状では、再生可能エネルギーを使用することで経費は増加しますが、リサイクル事業者として持続可能な循環型社会づくりに貢献したいと考え、導入を決めました。再生可能エネルギーを導入することで、事業場内で使用する設備機器や車両などの電動化によるCO2排出量削減効果も大きくなります。先日は電動フォークリフトを1台導入しました」と、今後もSDGsに向けた活動

を積極的に推進していく姿勢を示しています。



脱炭素電力認定制度認定証

「NGP大感謝キャンペーン」6月30日まで!!

宝くじなどの賞品が抽選で当たる「NGP大感謝キャンペーン」を、4月1日~6月30日までの3ヵ月間開催しています。

NGPリサイクル部品に貼付されるギャランティシールを集めてご応募いただいた方の中から、抽選で1,013名の方に宝くじなどの賞品をプレゼントいたします。

今回は、応募用紙3枚分(ギャランティシール 63枚)を1口として応募が可能な大口コースと、 前回同様3枚一口でご応募いただける通常コース をご用意致しました。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布する ほか、当組合Webサイト(https://www.ngp. gr.jp/campaign/)からダウンロードすること 道る!!

も可能です。なお、ギャランティシールに付帯しているベルマークは切り離し、ぜひ地域社会貢献にご活用いただきたくお願い申し上げます。

お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後		変更日
中四国	有限会社オートパーツ新居浜	会社代表	代表取締役	中原 將貴	2022年4月1日

計報

令和4年4月12日、中四国支部組合員・株式会社山陰エコ・リサイクル (島根 県松江市) 代表取締役 勝部 忍 (かつべ しのぶ) 様がご逝去されました (68歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和4年4月13日、北関東支部組合員・株式会社茨城オートパーツセンター (茨城県小美玉市)代表取締役 増田 嘉久様の御尊父様・増田 嘉雄(ますたよしお)様がご逝去されました(満88歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209 https://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201 https://www.ngp.co.jp/











FSC®森林認証紙、ノン VOC インキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンブリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー 100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出される CO_2 全量をカーボンオフセット(相殺)した「 CO_2 ゼロ印刷」で印刷しています。